



神戸市外国語大学創立80周年記念事業

ロシア学科卒業生連続講演会

外大での学びと地域・国際貢献 —卒業生に学ぶ語学力と専門性の活かし方—



本学創立80周年を記念して、ロシア学科を卒業後、ロシア語にとどまらない専門性を活かして各分野で活躍している講師3名をお招きし、本学での学びと現在の専門分野との関わりや、自らの専門性を通じた地域社会および国際社会への貢献のあり方についてお話しいただきます。

会場：神戸市外国語大学 第2 学舎

**対象：本学学部生・大学院生、
教職員、卒業生、一般の方**

* 事前予約は不要です（参加無料）。
直接会場にお越しください。

第1回

2026

10/5(月)

14:25～15:55

@503教室

ロシア語を学んで中央アジアへ —壁画から読み解く文化と歴史—

講師 影山 悦子（名古屋大学人文学研究科附属人類文化遺産テキスト学研究センター 准教授）



講師プロフィール

本学ロシア学科卒業。本学大学院外国語学研究科博士課程修了、博士（文学）。学部3年時にシルクロードゼミに入り、中央アジアのソグド人の文化に関心を持つ。訳書にÉ.ドゥ・ラ・ヴェシエール著『ソグド商人の歴史』（岩波書店、2019年）がある。

第2回

2026

11/13(金)

14:25～15:55

@501教室

ロシア語でたどる日露の歴史 —極東ロシア・北方領土・日露交流—

講師 榎本 真奈美（翻訳者、同志社大学嘱託講師）



講師プロフィール

本学ロシア学科卒業。ロシア文学・日露関係史を専門とする研究者・翻訳者。極東ロシアや北方領土を中心に、日露の歴史と交流を研究する。訳書に『ロシアからブロードウェイへ』（群像社、2023年）、『舟 北方領土で起きた日本人とロシア人の物語』（皓星社、2024年）、『ロマン・キム伝 日本・ソ連・朝鮮のはざまを生きたスパイ』（みすず書房、2026年〔近刊〕）など。

第3回

2026

12/18(金)

16:05～17:35

@503教室

文学のモビライゼーション —冷戦期アメリカにおける亡命ロシア文学の出版について—

講師 後藤 篤（京都府立大学文学部 国際文化交流学科 准教授）



講師プロフィール

本学ロシア学科卒業。大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程単位修得退学、博士（言語文化学）。専門は現代アメリカ文学研究・小説論、映画アダプテーション研究。著書に『アメリカ文学史への招待』（法律文化社、2025年）、『スクリーンに映るまなざし』（松籟社、2026年）など。翻訳にウラジーミル・ナボコフ『魅惑者』（『ナボコフ・コレクション5』所収、新潮社、2019年）など。

お問い合わせ先

神戸市外国語大学 総務グループ shomu@office.kobe-cufs.ac.jp



Kobe City University of Foreign Studies

神戸市外国語大学